

福岡市医師会看護専門学校
看護専門課程第1看護学科

令和6年度
入学試験問題及び解答集
(Ⅰ期・Ⅱ期)

福岡市医師会看護専門学校
看護専門課程第1看護学科

令和6年度
入学試験(Ⅰ期)問題及び解答集

国語総合 (その一)

※ 解答は全て解答用紙に記入してください。

【一】次の各問いに答えなさい。

問一、次の四字熟語の○に、下の意味になるよう当てはまる漢字を答えなさい。

- ① 二者○一 「」 () 二つの選択肢のうちの一方を選ぶこと。
② 東奔○走 「」 () 物事がうまくいくように、関係方面をあちこち駆け回ること。
③ 温○知新 「」 () 昔の事を調べて、そこから新しい知識や見解を得ること。
④ 大○晩成 「」 () 大人物となる人間は、普通より遅く大成するということ。

問二 次の傍線部の熟語の○に「的」「化」「性」のいずれかを入れて、三字熟語を作りなさい。

- ① 論理に「貫○がない。 「」 () ② 過疎○した村。 「」 ()
③ 意図○に間違えた。 「」 () ④ 形骸○した議論。 「」 ()

問三 次の上下の熟語が類義語となるよう傍線部の熟語の○に漢字一字を入れなさい。

- ① 賞賛 ≡ 贊○ 「」 () ② 理由 ≡ 情○ 「」 ()
③ 形見 ≡ 品○ 「」 () ④ 貢献 ≡ 与○ 「」 ()

問四、次のことわざの空欄に、下の意味になるよう漢字一字を入れなさい。

- ① 木を見て□を見ず 「」 () 些細なことにこだわって、全体を見失うことのとたとえ。
② □橋を叩いて渡る 「」 () 用心の上にも用心を重ねて事を行うことのとたとえ。
③ □からぼたもち 「」 () 勞せずして思いがけない幸運を得ること。
④ 故郷へ□を飾る 「」 () 故郷を離れていた者が、出世して故郷に帰ること。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

急に暑くなると必ず熱中症が発生する。同じ暑さの日を比べると6〜7月は8〜9月よりも熱中症の救急搬送者数が多い。運動や仕事の初日に倒れる事例も多い。熱中症には個人差があるが、個人変化もある。体が暑さに^①順応することを「暑熱順化」と呼ぶ。これには二つの段階がある。

第1段階では、約一週間で神経系が暑さに慣れ、素早く大量の汗が出るようになる。汗が体表面で乾くことで皮膚が冷えて体温が下がるので、汗をたくさん出せる方が暑さに強い。汗は血液から作られ、水分と塩分(ナトリウム)が汗に失われている。A、体温の^a維持は体液の維持よりも優先されている。

汗のナトリウム濃度は血液より薄いのが、発汗量が増すと濃くなるので、大量に汗をかく人ほどナトリウムが失われやすくなる。この時、水だけを摂取していると血液の浸透圧が低下し、脱水状態なのに尿量が増加する現象(自発的脱水)が生じる。ナトリウム不足は筋肉がつる症状(熱けいれん)も引き起こす。そこで、大量に汗をかけた時は少しナトリウムの入ったスポーツ飲料を^b摂取することが脱水防止に合理的である。

Bでは、約一カ月間で内分泌系が暑さに慣れ、汗がサラサラになる。汗を分泌する管(汗管)はナトリウムを再吸収しているが、発汗が続くと再吸収の効率が向上する。そもそも体温を下げるには体表面に水が出ればよく、Cは必要ない。熱くなり始めの頃は塩分を含むベタベタの汗だが、^②徐々にサラサラになる。このような暑熱順化が完成する前に暑い環境下で無理に頑張ろうとすると、体温、体液、塩分のバランスを崩し、熱中症になりやすい。

暑熱順化するには、毎日、汗をかく習慣を持つことである。入浴やサウナ、^③香辛料で汗をかく方法もあるが、発汗時の血液循環をうまく調節するためには筋肉が重要なので、タンパク質を摂取して運動するのが最善である。一方、汗をかかない日が続くと暑熱順化の効率は徐々に弱まる。

「汗をかくのは嫌だ!」という声が聞こえそうである。D、汗をかけるのは人間の特技である。体毛に^④覆われた動物は発汗の仕組みがなく、口を開けて体表面をなめるしかない。進化を^⑤遂げた私たちは知恵も働かせながら汗をかき、暑熱順化を達成して、夏を健やかに乗り切りたい。

(堀江政知 「暑熱順化」より)

問一、傍線部①〜⑤の漢字に、読み仮名を付けなさい。

問二、傍線部 a・b の語の文中での最も適切な意味を語群から選び、記号で答えなさい。

- a 維持 a 管理すること イ 様々なものを持ち続けること
 ウ 持ちこたえること エ そのまま保ち続けること
- b 摂取 a 取り入れて自分のものにする イ 薬を飲むこと
 ウ 他者の物を無償で自分のものにする エ 幾つかの物を合わせて一つにすること

問三、空欄 A・D に入る言葉を次の語群から選び、記号で答えなさい。

- A ア とはいえ イ 同時に ウ すなわち エ 他方では オ だとすると
 D ア すると イ そして ウ 例えば エ 実は オ なるほど

問四、空欄 B・C に入る適当な言葉を考えて答えなさい。

問五、二重線部「6〜7月は8〜9月よりも熱中症の救急搬送者数が多い」とあるが、その理由を文中の言葉を用いて答えなさい。

問六、熱中症の予防として、筆者のすすめることはどんなことか、文中から抜き出して十字程度で答えなさい。

国語総合 (その三)

※ 解答は全て解答用紙に記入してください。

【三】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今日は二百二十日だが、九月一日の関東大震災記念日や、二百十日から、この日にかけては、寅彦先生の名言「^A天災は忘れた頃来る」という言葉が、いくつかの新聞に必ず引用されることになっている。

^Bところで、よく聞かれるのであるが、この言葉は、先生のどの随筆にあるのかが、問題になっている。寅彦のファンは日本中にたくさんあって、先生の全集は隅から隅まで、何回となく、^①くり返して読んだという熱心な人がよくある。そういう人から、どうもおかしいが、この言葉は、どこにも見当たらない。一体どこにあるのか、という質問をよく受ける。

実はこの言葉は、先生の書かれたものの中には、ないのである。しかし話の間には、しばしば出た言葉で、かつ先生の代表的な随筆の一つとされている「天災と国防」の中には、これと全く同じことが、少しちがった表現で出ている。

それでも私も、この言葉が先生の書かれたものの中にあるものと思いついていた。もう十五年ばかりも昔の話になるが、たしか東京日日新聞だったかに、^②タノまれて「天災」という短文を書いたことがある。その文章の中で、私はこの言葉を、^③インヨウ(?)して「天災は忘れた頃来る」という寅彦先生の言葉は、まさに、^C千古の名言であると書いておいた。

^Dところが、この言葉が、その後方々で引用されるようになり、とうとう朝日新聞が、戦争中に、一日一訓というようなものを、^④インシュウした時、九月一日の分に、この言葉が採用されることになった。

正月元旦の「日本国は神国なり」から始まって、三百六十五日分、毎日その日に何かいわれのある言葉を、集めたものである。そしてそれには、いろいろな人が、出所と解説とを書くことになっていた。私は九月一日「天災は忘れた頃来る」の解説を頼まれ、まず出所を明らかにと思って「天災と国防」を読み返してみたが、E。慌てて天災に関係のありそうな随筆を、片っ端から探して見たが、どうしても見当たらない。

大いに困ったが、この言葉の方は、すでに^⑤シンチョウな会議をなんべんも開いて、^F採用に決定していたので、止めるわけには行かない。それで「天災と国防」の中にこれと全く同じことが書いてあるという理由で、解説を適当に書いて、勘弁してもらった。

もともとこの言葉は、書かれたものには残っていないが、寅彦の言葉にはちがいないのであるから、別に嘘をいつたわけではない。面白いことには、坪井忠二博士なども、初めはこの言葉が、寅彦の随筆の中にあるものと思いついていたそうである。それでこれは、先生がペンを使わないで書かれた文字であるともいえる。

(中谷宇吉郎 「天災は忘れた頃来る」より)

* 虎彦先生 寺田寅彦のこと。物理学者。随筆家。

問一、傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直しなさい。

問二、傍線部A「天災」は何を指しているか、「二百十日・二百二十日」に着目して漢字二字で答えなさい。

問三、傍線部B・Dの接続詞は、本文中でどのような使い方をしているか、次の中から選び記号で答えなさい。

B Ⅱところで	ア 対比	イ 転換	ウ 並列	エ 補足	オ 理由説明
D Ⅱところが	ア 順接	イ 付加	ウ 例示	エ 逆接	オ 選択

問四、傍線部C「千古の名言」とはどのような意味か答えなさい。

問五、本文中の空欄Eにあてはまる、ひらがな二字の言葉を文中から抜き出して、答えなさい。

問六、傍線部F「採用に決定していた」とあるが、何に採用されるのか、二〇字程度で答えなさい。

問七、本文中の「寅彦先生」は筆者の師であり、小説「こころ」の作者としても有名な明治の文豪の弟子である。その文豪の名前を漢

字で答えなさい。

問八、筆者特有の機知に富んだ、ユーモアのある表現を含む一文を抜き出し、最初の五字を答えなさい。

受験番号

--

令和六年度 看護専門課程 第一看護学科 一般I期 入学試験 解答用紙

国語総合

得点

問四	問三	問二	問一
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④

問六	問四	問二	問一
	B	a	①
	C	b	②
	問五	問三	③
		A	④
		D	⑤

問八	問六	問四	問二	問一
				①
				②
			問三	③
			B	④
	問七	問五		⑤
			D	

数学 I

解答は全て解答用紙に記入してください。

1 次の(1)~(6)の式を計算して簡単にしなさい。また、(7)、(8)は値を求めなさい。

(1) $(4x^2 - 3x + 10) + (-2x^2 + 6)$

(2) $3(x^2 + x - 3) - 2(2x^2 - x - 4)$

(3) $3x^2y \times (-2x^3y^2)$

(4) $64x^3y \times \left(\frac{1}{2}xy^2\right)^5$

(5) $4\sqrt{3} - \sqrt{12} + \sqrt{27}$

(6) $(2\sqrt{5} - 3)(2\sqrt{5} + 3)$

(7) $|5| - |-12|$

(8) $|-2| + |-2 + \sqrt{3}|$

2 次の問いに答えなさい。

(1) $(x-1)(x+2)(x-3)(x+4)$ を展開しなさい。

(2) 2次関数 $y = x^2 - 2(a-1)x + a^2 - 2a - 1$ (a は定数) のグラフの頂点の y 座標を求めなさい。

(3) 2次不等式 $4x - 2 \geq x^2$ を満たす整数 x をすべて求めなさい。

(4) 2直線 $y = \frac{1}{\sqrt{3}}x$ と $y = -x$ のなす鈍角を求めなさい。

(5) $x^2 - y^2 - z^2 + 2yz$ を因数分解しなさい。

3 $x = \frac{\sqrt{2}+1}{\sqrt{2}-1}$, $y = \frac{\sqrt{2}-1}{\sqrt{2}+1}$ のとき、次の値を求めなさい。

(1) $x+y$

(2) $(\sqrt{x} + \sqrt{y})^2$

(3) $\sqrt{x} + \sqrt{y}$

(4) $\sqrt{x} + \sqrt{y}$ の整数部分

4 (1) a, b は実数とする。次の の中は、下の①~④のうち、それぞれどれが適するか。番号で答えなさい。

①「必要条件であるが十分条件ではない」 ②「十分条件であるが必要条件ではない」

③「必要十分条件である」

④「必要条件でも十分条件でもない」

(1) $(a-b)a=0$ は $a=b$ であるための 。

(2) 四角形ABCDについて、ひし形であることは、対角線が直交するための 。

(2) 5人の生徒のテストの得点が 30, 40, 50, 60, a (点)であった。平均値が 50 点のとき、次のものを求めなさい。

(1) a

(2) 中央値

5 三角形ABCがあり、 $AB=3$, $BC=7$, $CA=5$ のとき、次のものを求めなさい。

(1) $\cos \angle BAC$ の値

(2) $\angle BAC$ の大きさ

(3) $\triangle ABC$ の面積

(4) $\angle BAC$ の二等分線と辺BCの交点をDとすると、線分ADの長さ

6 関数 $f(x) = -x^2 + ax + 2$ (a は正の定数とする。)がある。次の問いに答えなさい。

(1) この関数のグラフの軸の方程式を求めなさい。

(2) $a=4$ のとき、 $0 \leq x \leq 5$ における $f(x)$ の最大値とそのときの x の値を求めなさい。

(3) $a=4$ のとき、 $0 \leq x \leq 5$ における $f(x)$ の最小値とそのときの x の値を求めなさい。

(4) $0 \leq x \leq 5$ において、 $y=f(x)$ のグラフと x 軸との共有点がちょうど1個であるような a の値の範囲を求めなさい。

受験番号	
------	--

令和6年度 看護専門課程 第1看護学科 一般I期入学試験 解答用紙
 数 学 I
 (解答用紙の余白と白紙は計算に利用してよい)

得	点

1	(1)		(2)		
	(3)		(4)		
	(5)		(6)		
	(7)		(8)		
2	(1)		(2)		
	(3)		(4)		
	(5)				
3	(1)		(2)		
	(3)		(4)		
4	[1]	(1)	[1]	(2)	
	[2]	(1)	(点)	[2]	(2)
5	(1)		(2)		
	(3)		(4)		
6	(1)		(2)	$x =$ のとき, 最大値	
	(3)	$x =$ のとき, 最小値	(4)		

受験番号

令和六年度 看護専門課程 第一看護学科 一般I期 入学試験 解答用紙

国語総合

得点

問一	①	択
問二	①	性
問三	①	美(嘆)
問四	①	森
問一	②	西
問二	②	化
問三	②	事
問四	②	石
問一	③	故
問二	③	的
問三	③	遺
問四	③	棚
問一	④	器
問二	④	化
問三	④	寄
問四	④	錦

問一	①	じゅんのう
問二	a	エ
問四	B	第2段階
問六	(毎日、)汗をかく習慣を持つこと	
問一	②	じょじょに
問二	b	ア
問四	C	塩分
問五	問五	
問三	A	ウ
問一	③	こうしんりょう
問二	ウ	
問三	イ	
問四	体が暑さに慣れていないから。 体が(暑熱順化できていないから。)	
問一	④	おお
問二	われた	
問三	D	
問四	E	
問一	⑤	と
問二		
問三		
問四		
問五		
問六		
問七		
問八		

問一	①	線
問二	②	頼
問三	③	引用
問四	④	編集
問五	⑤	慎重
問一	線	
問二	頼	
問三	引用	
問四	編集	
問五	慎重	
問六	朝日新聞の「一日一訓」というようなもの	
問七	夏目漱石	
問八	それでこれ	
問一	①	線
問二	②	頼
問三	③	引用
問四	④	編集
問五	⑤	慎重
問六	朝日新聞の「一日一訓」というようなもの	
問七	夏目漱石	
問八	それでこれ	

令和6年度 看護専門課程 第1看護学科 一般I期入学試験 解答用紙
 数 学 I
 (解答用紙の余白と白紙は計算に利用してよい)

得	点

1	(1)	$2x^2 - 3x + 16$	(2)	$-x^2 + 5x - 1$
	(3)	$-6x^5y^3$	(4)	$2x^8y^{11}$
	(5)	$5\sqrt{3}$	(6)	11
	(7)	-7	(8)	$4 - \sqrt{3}$
2	(1)	$x^4 + 2x^3 - 13x^2 - 14x + 24$	(2)	-2
	(3)	1, 2, 3	(4)	105°
	(5)	$(x + y - z)(x - y + z)$		
3	(1)	6	(2)	8
	(3)	$2\sqrt{2}$	(4)	2
4	[1] (1)	①	[1] (2)	②
	[2] (1)	70 (点)	[2] (2)	50 (点)
5	(1)	$-\frac{1}{2}$	(2)	120°
	(3)	$\frac{15\sqrt{3}}{4}$	(4)	$\frac{15}{8}$
6	(1)	$x = \frac{a}{2}$	(2)	$x = 2$ のとき, 最大値 6
	(3)	$x = 5$ のとき, 最小値 -3	(4)	$0 < a \leq \frac{23}{5}$

福岡市医師会看護専門学校
看護専門課程第1看護学科

令和6年度
入学試験(Ⅱ期)問題及び解答集

国語総合 (その一)

※ 解答は全て解費用紙に記入してください。

【一】次の各問いに答えなさい。

問一、次の空欄に漢字一字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① 暗中□素 「」 | ② 疑心□鬼 「」 |
| ③ 取捨□扱 「」 | ④ 我田□水 「」 |

問二、次の文に間違った漢字一字が使われている。その文字を抜き出し、正しい漢字を書きなさい。

- | | |
|--------------------------|------|
| ① 発言内容に虚為があつたことを指摘する。 「」 | ↓ 「」 |
| ② 考古学の権偉が新たな学説を発表した。 「」 | ↓ 「」 |
| ③ 燃えるごみと一諸に空き缶を捨てた。 「」 | ↓ 「」 |
| ④ 体調が悪かつたので保険室に行った。 「」 | ↓ 「」 |

問三、次の上下の熟語が類義語となるよう、傍線部の熟語の空欄に漢字一字を書き入れなさい。

- | | |
|--------------|--------------|
| ① 敬服 〓 □心 「」 | ② 虚構 〓 架□ 「」 |
| ③ 勤勉 〓 努□ 「」 | ④ 関与 〓 □入 「」 |

問四、ことわざに注意しながら、次の文の空欄に当てはまる漢字一字を答えなさい。

- | |
|------------------------------|
| ① あれこれ心配するよりも□ずるより産むが易しだ。 「」 |
| ② 彼女は、立て板に□のように話し続ける。 「」 |
| ③ どんぐりの□比べで、目立ったものはない。 「」 |
| ④ □は急げというが、良いと思ったら実行すべきた。 「」 |

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

小さいころ紅葉狩りという言葉聞いて、へー、もみじを探ってきてどうやって食べるのだろうか、赤や黄の葉っぱがいろいろあるけれどおいしいのだろうかと疑問に思っていた。いちご狩り、ぶどう狩りと同列に探^①って食べることを意識したわけだが、狩りには観賞するという意味があることを知ったのはいつのころだったのか定かでない。A の方丈記に、帰り道には季節の折々に「桜を狩り、紅葉を求め、ワラビを折り、木の実を拾い」と出てくる。B 鎌倉時代には桜狩りと称して山野を歩いて桜を愛^②で、もみじも同様に探し観賞していたのだ。

清少納言は「九月のつごもり、十月のころ、空うち曇りて風のいとさわがしく吹きて、黄なる葉どものほろほるとこぼれ落つる、いとあはれなり」と枕草子に書いた。旧暦の九月は今の十月にあたるので、「十月の終わりから十一月にかけて、寒冷前線の通過だろうか、急に曇ってきて風がビューッと吹き、黄葉した葉っぱたちがほろほると落葉するのはとても趣深い」と訳せる。気象予報士としては紅葉した葉を散らすこの雲と風は、晩秋から初冬にかけて通過する寒冷前線通過、C 木枯らしと解釈したい。当時の天気図が脳裏^③に浮かぶようだ。はらはらでない、涙が落ちるようにほろほると表現した平安女性の感受性が逆に、斬新である。

この一文で特に気になったのが、平安時代にはすでに京の都では、十月の終わりから落ち葉の季節が始まっていたことだ。現在、京都のイチョウの黄葉の平年日は十一月二十四日、落葉は十二月四日。カエデに至っては紅葉が十二月五日、落葉は十二月十八日である。福岡の紅葉・落葉もほぼ同様で、十月の終わりはまだ街中の木々の葉はD である。平安時代と比べ落葉の季節が一カ月以上遅くなったことがわかる。地球温暖化と都市化に伴うヒートアイランド現象による気温の上昇が原因であろう。

近年は美しく色づかないまま落葉する姿を目にすることも増えてきた。「あはれ」には趣深い^④という意味がある一方、無残^cだという意味もある。清少納言が、千年の時を経^⑤て、この事実を知ったら枕草子にはどう表現するのだろうか。

(吉竹顕彰 「天気の話」より)

問一、傍線部①～⑤の漢字に、読み仮名を付けなさい。

問二、空欄A・Dに入る適当な言葉(Aは人名)を考えて答えなさい。

問三、空欄B・Cに入る言葉を、次の語群から最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|-------|-------|-------|--------|--------|
| B | ア まさか | イ たぶん | ウ すでに | エ ようやく | オ おそらく |
| C | ア やがて | イ つまり | ウ 実 | エ そして | オ たしかに |

問四、傍線部a「平安女性」について、該当しないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | |
|--------|--------|---------|--------|-------|
| ア 藤原定子 | イ 和泉式部 | ウ 菅原孝標女 | エ 小野小町 | オ 額田王 |
|--------|--------|---------|--------|-------|

問五、傍線部b・cの語の、文中での最も適切な意味を語群から選び、記号で答えなさい。

- | | | | | |
|------|-----------|---------------|------------|--------------|
| b 斬新 | ア 奇抜なこと | イ 今までになく新しいこと | ウ 革新的であること | エ 一風変わっていること |
| c 無残 | ア いたましいこと | イ 残酷なこと | ウ 気の毒なこと | エ 残忍なこと |

問六、本文の中で、自然の変化に対する推測・判断が述べられている一文を抜き出し、最初の五字を答えなさい。

国語総合 (その二)

※ 解答は全て解答用紙に記入してください。

【三】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

精神病者に簡単な手工をすすめるのはいいと聞いていたので、智恵子が病院に入院して、半年もたち、^① コウフンがやや ^② チンセイした頃、私は智恵子の平常好きだった千代紙を持っていった。智恵子はたいへん喜んでそれで千羽鶴を折った。訪問するたびに部屋の天井から下がっている鶴の折紙がふえて美しかった。そのうち、鶴の外にも紙灯籠だとかその他の形のものが作られるようになり、中々 **意匠** をこらしたものがぶら下がっていた。すると或る時、智恵子は訪問の私に一つの紙包みを渡して、見ろという ^③ フゼイであった。紙包みをあけると中に色紙を缺で切った模様風の美しい紙細工が大切そうに仕舞ってあった。それを見て私は驚いた。それがまったく折鶴から ^④ ヒヤクテキに進んだ立派な芸術品であったからである。私の感嘆を見て ^a 智恵子は恥かしそうに笑ったり、お辞儀をしたりしていた。

その頃は、何でもそこらにある紙きれを手あたり次第に用いていたのであるが、やがて色彩に対する要求が強くなったと見えて、色紙を持って来てくれというようになった。私は早速丸の内の **襟原** へ行って子供が折紙につかう色紙を幾種か買って送った。智恵子の「仕事」が ^b それから始まった。看護婦さんのいうところによると、風邪をひいたり、熱を出したりした時以外は、毎日「仕事」をするのだといつて、朝からしきりと切紙細工をやっていたらしい。缺はマニキュアに使う小さな、尖端の曲った缺である。その缺一挺を手にして、暫く紙を見つめていてから、あとは **A** 切り抜いてゆくのだという事である。模様の類は紙を四つ折または八つ折にして置いて切り抜いてから紙をひらくとそこにシムメトリーが出来るわけである。そういう模様の中々おもしろいがある。はじめ一枚の紙で一枚を作る単色のものであったが、後にはだんだん色調の配合、色量の均衡、布置の比例等に微妙な神経がはたらいて来て紙は一個のカムバスとなった。十二単衣に於ける **色襲** ねの美を見るように、一枚の切抜きをまた一枚の別の色紙の上に貼りつけ、その色の調や対照に **妙味** 尽きないものが出来るようになった。或いは同色を襲ねたり、或いは近似の色で構成したり、或いは缺で線だけ切つて切り抜かずに置いたり、いろいろの技巧を **B** この切り抜かずに置いて、それを別の紙の上に貼つたのは、下の紙の色がちらちらと上の紙の線の間に見えて **不可言の美** を作る。智恵子は触目のものを手あたり次第に題材にした。 ^⑤ ショクゼンが出るとその皿の上のものを紙で作らないうちは箸をとらず、そのため食事が遅れて看護婦さんを困らした事も多かったらしい。千数百枚に及ぶこれらの切抜絵はすべて智恵子の詩であり、抒情であり、機智であり、生活記録であり、この世への愛の表明である。これを私に見せる時の智恵子の恥かしそうなうれしそうな顔が忘れられない。

(高村光太郎 「智恵子の紙絵」より)

* 高村智恵子 光太郎の妻、洋画家。

* 布置 (ふち) 物を適当な位置におくこと。配置。 * 色襲ね (いろかさね) 美しい色の衣を重ねて着ること。また、その衣。

問一、傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直しなさい。

問二、空欄 A・B に次の中から最も適当な言葉を選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|-------|
| A | ア | こわごわと | イ | しみじみと | ウ | すらすらと | エ | さらさらと | オ | いきいきと |
| B | ア | こらした | イ | ひねった | ウ | はりつけた | エ | あてはめた | オ | あんじた |

問三、本文中の次の語の意味を、語群から最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|----|---|-----|---|------|---|----|---|-----|
| 意匠 | ア | 技術 | イ | 構図 | ウ | 色彩 | エ | 工夫 | オ | 裝飾 |
| 妙味 | ア | 甘み | イ | 色あい | ウ | 美味しさ | エ | 感覚 | オ | 味わい |

問四、傍線部 a 「智恵子は恥かしそうに笑ったり、お辞儀をしたりしていた」について、智恵子の気持ちを簡単に説明しなさい。

問五、傍線部 b 「それ」とは、どんなことを言っているか、十字程度で簡潔に答えなさい。

問六、傍線部 c の『「仕事」を』について、なぜ仕事という表現をしたのか、次の中から最も適当なものを選びなさい。

- | | | | | | |
|---|----------------|---|-----------------|---|-----------------|
| ア | 入院して仕事を休んでいたから | イ | 生産活動をしたかったから | ウ | 芸術家としての自分が蘇ったから |
| エ | 切絵細工が仕事だったから | オ | 少しでも家計を助けたかったから | | |

問七、本文中の **不可言の美** とはどのような意味か、簡単に説明しなさい。

令和六年度 看護専門課程 第一看護学科 一般Ⅱ期 入学試験 解答用紙

受験番号

国語総合

得点

問一	①	「 ↓ 」	①
問二	②	「 ↓ 」	②
問三	③	「 ↓ 」	③
問四	④	「 ↓ 」	④

問一	①	って	①
問二	A	D	②
問三	B	B	③
問四	問五	b	④
問五	c	C	⑤
問六			て

問一	①	A	①
問二	②	B	②
問三	③	意匠	③
問四	④	問五	④
問五	⑤	妙味	⑤
問六			
問七			

数学 I

解答は全て解答用紙に記入してください。

1 次の(1)~(6)の式を計算して簡単にしなさい。また、(7)、(8)は因数分解しなさい。

(1) $(x^2 + 3y^2 - 2xy) + (y^2 + 3xy - 2x^2)$

(2) $(-ab^2)^2(-3a^2b)$

(3) $(x+3)(x^2-3x+9)$

(4) $\left(x + \frac{1}{x}\right)^2 - \left(x - \frac{1}{x}\right)^2$

(5) $\sqrt{12} + \sqrt{27} - \sqrt{48}$

(6) $(2\sqrt{5} + \sqrt{2})(4\sqrt{2} - \sqrt{5})$

(7) $(a+b)^2 - c^2$

(8) $3x^2 + 2xy - y^2 + 7x + 3y + 4$

2 次の問いに答えなさい。

(1) $x = -2$ のとき、 $|-x| + |x + \sqrt{3}|$ の値を求めなさい。

(2) 家から駅まで時速 30 km で行くと、50 分以上かかるという。家から駅まで何 km 以上離れているか求めなさい。

(3) $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ とする。不等式 $\tan \theta > \sqrt{3}$ を満たす θ の範囲を求めなさい。(4) x の 2 次方程式 $x^2 - mx + m + 5 = 0$ が $x = 3$ を解に持つとき、もう一つの解を求めなさい。(5) 条件「 $a \neq 0$ かつ $b \neq 0$ 」の否定を述べなさい。3 $\frac{4}{\sqrt{5}+1}$ の整数部分を a 、小数部分を b とする。このとき、次の問いに答えなさい。(2)~(4) は値を求めなさい。

(1) $\frac{4}{\sqrt{5}+1}$ の分母を有理化しなさい。

(2) a

(3) b

(4) $a^2 + 4ab + b^2$

4 (1) $\sqrt{5}$, -3 , 0 , $\frac{1}{8}$, 7 , $\frac{31}{27}$ について、次の問いに答えなさい。

(1) 自然数をすべて求めなさい。

(2) 有理数をすべて求めなさい。

[2] 次のデータ x は A さんが数学の小テストを 6 回受けたときの記録です。次の問いに答えなさい。 $x: 3, 8, 15, 12, 14, 20$ (点)

(1) 平均値を求めなさい。

(2) 分散を求めなさい。

5 2 つの 2 次関数 $f(x) = x^2 - 4x + a^2$ と $g(x) = x^2 + 2ax - a^2 + 6a$ がある。このとき、次の問いに答えなさい。(1) $y = f(x)$ のグラフの頂点の座標を求めなさい。(2) $y = g(x)$ において $a = -1$ のときの $0 \leq x \leq 3$ における最大値とそのときの x の値を求めなさい。(3) すべての実数 x について、 $g(x) > 0$ が成り立つような a の値の範囲を求めなさい。(4) $f(x) = 0$, $g(x) = 0$ がともに実数解を持つような a の値の範囲を求めなさい。6 三角形 ABC において、 $BC=5$, $CA=6$, $AB=7$ のとき、次のものを求めなさい。

(1) $\cos A$

(2) $\sin A$

(3) $\triangle ABC$ の面積

(4) $\triangle ABC$ の内接円の半径

受験番号	
------	--

令和6年度 看護専門課程 第1看護学科 一般Ⅱ期入学試験 解答用紙
数 学 I

(解答用紙の余白と白紙は計算に利用してよい)

得 点

1	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	
2	(1)		(2)	km以上
	(3)		(4)	
	(5)			
3	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
4	[1] (1)		[1] (2)	
	[2] (1)	(点)	[2] (2)	
5	(1)	(,)	(2)	$x =$ のとき, 最大値
	(3)		(4)	
6	(1)		(2)	
	(3)		(4)	

受験番号

国語総合

得点

問一	①	模
問二	①	「為」↓「偽」
問三	①	感
問四	①	案
問一	②	暗
問二	②	「偉」↓「威」
問三	②	空
問四	②	水
問一	③	選
問二	③	「諸」↓「緒」
問三	③	力
問四	③	背
問一	④	引
問二	④	「険」↓「健」
問三	④	介
問四	④	善

問一	①	と
問二	A	鴨長明
問三	D	緑
問四	オ	地球温暖化
問一	②	め
問二	②	で
問三	③	のうり
問四	問五	b
問五	B	ウ
問六	c	C
問一	④	おもむき
問二	④	イ
問三	⑤	へ
問四	⑤	ア
問五	⑤	て

問一	①	興奮(昂奮)
問二	A	ウ
問三	B	ア
問四	②	鎮静
問五	③	風情
問六	問七	意匠
問七	④	飛躍的
問八	④	エ
問九	⑤	食膳
問一〇	⑤	オ

自分の作品を褒めて(認めて)もらってうれしい気持ち

言葉では言い表せないような美しさ

色紙が届いたこと

令和6年度 看護専門課程 第1看護学科 一般Ⅱ期入学試験 解答用紙
数 学 I

(解答用紙の余白と白紙は計算に利用してよい)

得 点

1	(1)	$-x^2 + xy + 4y^2$	(2)	$-3a^4b^5$
	(3)	$x^3 + 27$	(4)	4
	(5)	$\sqrt{3}$	(6)	$-2 + 7\sqrt{10}$
	(7)	$(a+b+c)(a+b-c)$	(8)	$(x+y+1)(3x-y+4)$
2	(1)	$4 - \sqrt{3}$	(2)	25 km以上
	(3)	$60^\circ < \theta < 90^\circ$	(4)	$x = 4$
	(5)	$a = 0$ または $b = 0$		
3	(1)	$\sqrt{5} - 1$	(2)	1
	(3)	$\sqrt{5} - 2$	(4)	2
4	[1] (1)	7	[1] (2)	$-3, 0, \frac{1}{8}, 7, \frac{31}{27}$
	[2] (1)	12 (点)	[2] (2)	29
5	(1)	(2 , $a^2 - 4$)	(2)	$x = 3$ のとき, 最大値 -4
	(3)	$0 < a < 3$	(4)	$-2 \leq a \leq 0$
6	(1)	$\frac{5}{7}$	(2)	$\frac{2\sqrt{6}}{7}$
	(3)	$6\sqrt{6}$	(4)	$\frac{2\sqrt{6}}{3}$